（４）軽はずみなＳＮＳへの投稿

対象校種：小学校、中学校
テーマ　：ＳＮＳでのトラブル

1　本時の目標

不適切な写真をＳＮＳに投稿することの問題点と、そのことにより社会や自分の将来へ及ぼす影響について考えさせることを通して、インターネット上に情報を発信する際の責任を理解させ、インターネットを適切に利用しようとする態度を身に付けさせる。

2　学習指導のポイント

○　インターネット上に情報を発信する際の責任を理解させる。
○　インターネット上に出回った情報は回収が困難であることを理解させる。

3　授業実施前の準備や留意点

ＳＮＳなどの利用状況やＳＮＳへの不適切な投稿経験、ＳＮＳに関するトラブルや対処方法について、アンケート調査を実施し、児童生徒の実態を把握しておきます。導入時に表やグラフにまとめ、授業の導入時でＳＮＳのよいところや便利なところを踏まえて、どのように利用していくべきかを考えるために利用します。

日常モラルでしてはいけないこと、インターネットの特性から気をつけなければならないことについて整理した上で、情報社会における責任や義務を意識させ、正しく判断することの大切さを理解させます。

4　情報モラル指導モデルカリキュラム表への対応

小学校　　a3-1：他人や社会への影響を考えて行動する
中学校　　a4-1：情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する
高等学校　a5-1：情報社会において、責任ある態度をとり、義務を果たす

5　本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価 （評価の観点）
導入〔５分〕 ○ＳＮＳに公開し、遠くに離れた友人と交流するなど、インターネットの適切な利用について理解する。	○ＳＮＳは便利な点もあるが、気をつけるべき点があることを押さえ、本時の課題につなげる。	
めあて（インターネット上に投稿するときにどのようなことに気をつければよいか考えよう）		
展開〔25 分〕 ○情報化社会の新たな問題を考えるための教材 10「軽はずみなＳＮＳへの投稿」導入動画を視聴する。（全体）	**＜スライド（４）－１～２＞**	
発問①「かずきさんのどのような行動が問題だったのでしょうか？」		
○かずきさんのどのような行動が問題であったかワークシートに書き、グループで話し合い、全体で共有する。 ・タコを頭にのせた ・仕事中にふざけた ・お店の信頼を傷つけた ・悪ふざけの画像をＳＮＳに投稿した ・自分の顔がわかる写真だった	**＜スライド（４）－３＞** ○問題点が、日常モラルによるものと、インターネットの特性によるものに分けられることに気づかせる。 **＜スライド（４）－４～５＞** ○画像の問題点を考えさせる。	十分満足できると判断される状況 ○撮影された画像の正しい扱い方について、それぞれの立場に立って考えることができる。

・よく考えずに投稿した		
発問②「かずきさんや周りの人たちは、今後どのようになってしまいますか？」		
○かずきさんと周りの人たちが今後どのようになってしまうのかを考え、ワークシートに書き、グループで話し合い、全体で共有する。 【かずきさん】 ・就職できなくなる ・信頼を失う ・友達がいなくなる 【周りの人たち】 ・店員が職を失う ・店員の家族も生活に困る	＜スライド（４）－６＞ ○不適切な投稿をすると、自分の人生だけでなく、多くの人に影響を与えてしまうことに気づかせる。 ＜スライド（４）－７～８＞ ○インターネットの特性（公開性や記録性）によるものであることを理解させる。	努力を要する状況への手立て ○他人の意見を聞くことにより、それぞれの立場によって、考え方や感じ方が異なることを理解させる。
まとめ〔10 分〕 ○ネット上への発信や写真を投稿するときには、どのようなことに気を付けたらよいのかを考え、グループや全体で共有する。 ・普段やってはいけないことは投稿しない ・投稿しても問題がない内容かどうかを考える ・他人への影響も考えて行動する	＜スライド９～15＞ ○日常モラルとインターネットの特性の両方を合わせて考え、投稿してよいかを判断することが重要であることを理解させる。 ○インターネットを正しく使うことで、便利で豊かな生活が送れることにも気づかせる。 ※情報化社会の新たな問題を考えるための教材 10「軽はずみなＳＮＳへの投稿」解説動画を視聴させてもよい。	

平成 28 年度に向日市立第３向陽小学校、亀岡市立亀岡中学校、府立北桑田高等学校、府立東稜高等学校で実践された授業を元に作成しました。

６　参考資料

情報化社会の新たな問題を考えるための教材

教材 10　軽はずみなＳＮＳへの投稿

（文部科学省委託　情報モラル教育推進事業）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm

このＣＤ－Ｒに掲載している動画又は平成 28 年５月に各学校に配付されたＤＶＤの動画を御利用ください。

※インターネットの特性

情報化社会の新たな問題を考えるための教材

～安全なインターネットの使い方を考える～　指導の手引きより

「公開性」について、インターネット上での書き込みは、基本的には広く公開、あるいは公開させる可能性があり、世界中の誰からでも見られる可能性があるのだという感覚を持たせることが大切である。友達同士だけでのやり取りだと思って公開のサービスに不適切な写真や情報を掲載して起こるトラブルや、閉じられたサービスだと思って発信した情報が公開のサービスに転送されるというトラブルが頻発している。

したがって、インターネット上での書き込みは、どんなサービスであっても公開される可能性があるのだという感覚を持たせると同時に、著作権・肖像権を守って発信しなければならないという意識ももたせなければならない。

「記録性」について、一度発信した情報は、取り戻せないことが多く、必ずどこかに記録が残ってしまうことを理解させることが必要である。名前を書かない場合も誰が発信したかという記録が必ず残ってしまう仕組みもある。

インターネット上の過去の書き込みを調べることは容易なので、進学や就職等自分の将来を決める重要な場面で人物評価のために自分の過去の書き込みまで遡って調べられる可能性があることを理解させる必要がある。